



ほうじ茶号

第189号

発行日：令和元年10月1日

発行者：医療法人 博愛会 福田脳神経外科病院
院内情報委員会 (☎0952-29-2223)

診察室から ～めまい～

理事長 福田 雄高

脳卒中の症状といえば、言葉のもつれ、話しにくさ、片方だけの顔面や手足の動かしにくさが典型的です。これらのわかりやすい症状が出現すると、あっ！脳卒中かな!?!と疑い、少しでも早く病院に受診することが重要です。

脳卒中、そのなかでも脳梗塞や脳出血、あるいは脳腫瘍や水頭症の症状の一つとして、わかりにくい症状に“めまい”があります。

めまいといっても、目の前がぐるぐる回る様な“回転性めまい”と、船の上で揺られている様な“浮動性めまい”の2種類があります。

英語では回転性めまいは”Vertigo(バーティゴ)”、浮動性めまいは“dizziness(ディジネス)”と全く違う単語で表現されます。

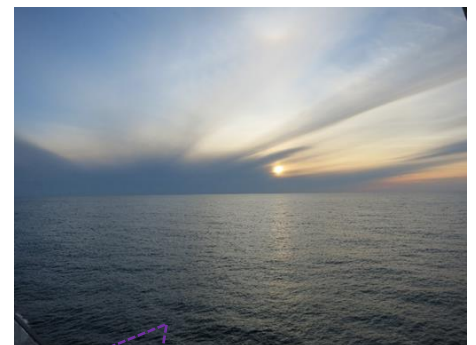
一般的に回転性めまいは、耳にある、平衡感覚をつかさどる三半規管の異常を原因とする末梢性めまい(内耳性めまい)とされています。

その一方で、浮動性めまいは、脳・中枢神経系が原因となる中枢性めまいと捉えられてはいます。但し紛らわしいのは、回転性めまいだからといって、実は脳が原因となることもあることです。

めまいの原因としては、末梢性めまいが多いですが、5%程度の割合で中枢性めまいの方がいるとも報告されています。平衡感覚をつかさどる、小脳、脳幹といった部位が原因であったり、稀に耳の神経に腫瘍を認める場合もあります。

特に今までにないめまいが急に出現したもの、血圧が高いもの、なかなか時間がたってもめまいがおさまらないもの、元々高血圧、糖尿病、脂質異常症といった危険因子がある方、頭痛を伴うものなどは要注意です。

めまいに対して脳疾患からくるものを疑うときは、やはり頭部MRI精査まで行わないと完全に否定することは難しいものと考えます。総合病院の救急外来に受診された場合でも、なかなか頭部MRI精査にまでは至らないことがあります。時に見逃されることがある、“めまい”症状を認めた際は、気軽に受診、相談頂ければと考えます。



フェリーから眺める日本海の夕暮れ。
穏やかにめまいなく過ごしたいものです。